

BURTON  **REFERENCE GUIDE**

BIND INGS

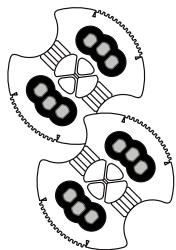
テンションは最高潮!

あなたは、最も高性能で、最も快適な、最も信頼の置けるBurtonバインディングを手に入れました。早速セッティングして、ライディングしましょう。

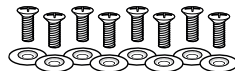
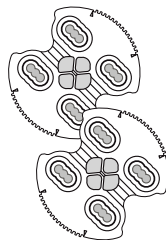
以下が付属しています。

1. The Channel™用のRe:Flex™ディスク、M6×13のビス(ブラック)4つ、ワッシャー(ブラック)4つ
2. 4×4用のRe:Flex™ディスク、M6×16のビス(シルバー)8つ、ワッシャー(シルバー)8つ

#1



#2



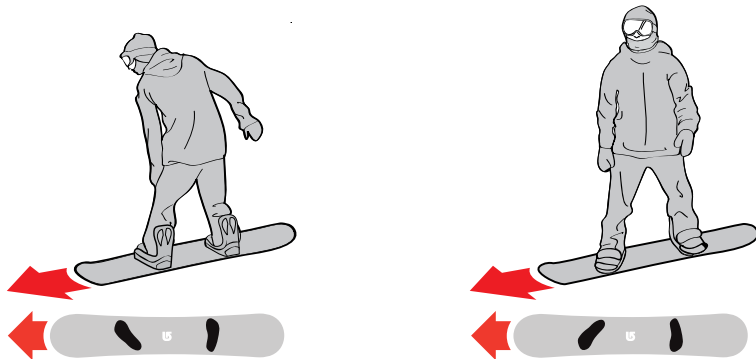
バインディングをボードに取付けるために必要なものは?

1. #2のプラスドライバー、#3のプラスドライバー
2. 約15分と平らな場所

あなたはレギュラーですか？ グーフィーですか？

これは、今後のスノーボードライフを左右しかねない重要な選択です。もし、サーフィンやスケートボードをやったことがないのであれば、自分がレギュラーなのかグーフィーなのか知る必要があります。まず、以下の3つの方法を試してください。

1. 友達に、背後から軽く押ししてもらいましょう。転ばないようにと、とっさに出た足が前足になります。顔面から転んだ場合は、もう一度やり直してください
2. ツルツルした床で、靴下を履いたままスライドしてみましょ。より自然と先に出た足が前足になります。壁に激突した場合は、スピードを落としてください。
3. 直立の状態から、階段を駆け上がってみましょ。最初に出た足が前足になります。階段を駆け上がれない場合は、もっと日頃から運動するようにしてください。



右足が前足ならグーフィー、左足が前足ならレギュラーになります。

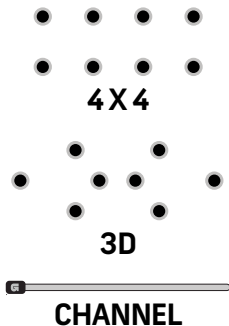
RE:FLEX™ バインディングの取付け



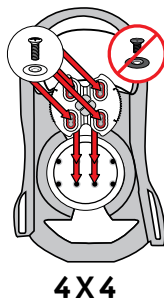
USE THE RIGHT SCREWS. Black EST screws come with their own lock washer and mate to the tracked insert that slides into The Channel.

注意: Loctite®をはじめ、その他の緩み止め接着剤は使用しないでください。バインディングを傷め、腐食させ、保証の対象外となる場合があります。

1. ステップ1: 自分のボードのマウンティングシステムに適したビスを使いましょう。シルバーのビスは4×4と3D®用、ブラックのスクリューはThe Channel™用です



2. 自分が望むスタンス幅とセンタリングの位置にビスを仮留めします。



3. ビスを締めましょう。

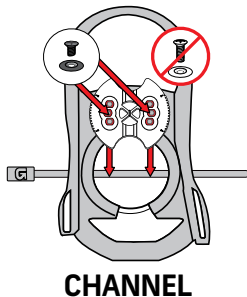
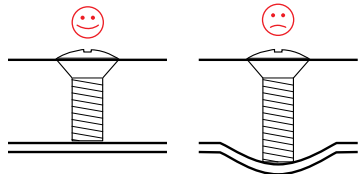
ビスが締められていないと、最悪の1日を経験する羽目になるかもしれません。#3のプラスドライバーを使って、しっかりと締めましょう。ビスを締める際は、少しずつ、交互に締めることをオススメします。そうすることで、均等にそれぞれのビスを締めることができます。

ライディングするときは、毎回ビスが緩んでいないかどうかチェックします。さらに、毎週日曜日の午後、もしくは満月の日など、定期的にチェックすることをオススメします。

Loctite®をはじめ、その他の緩み止め接着剤は使用しないでください。バインディングの非金属パーツの強度を弱め、腐食させる可能性があります。

ワンポイント: ライディングするときは、毎回ビスが緩んでいないかどうかチェックし、必要に応じて締め直しましょう。

注意: スタンダードなビス(シルバーのM6×16)は長過ぎるため、使用できません。

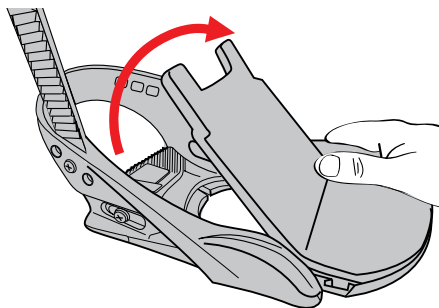


ガスペダル調節

ガスペダルはトウのドラグを軽減します。足の疲労を和らげ、ターンに一層のパワーを与えてくれるのです。

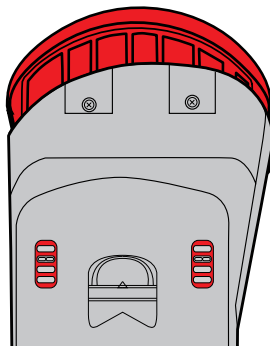
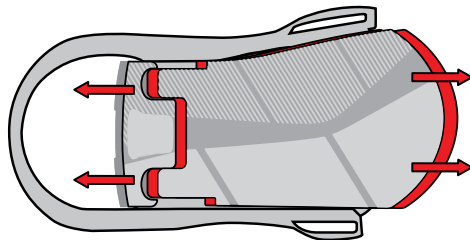
ヒント:ガスペダルは、ブーツソールとBEDとのコンタクトポイントに合わせるようにしてください。それ以上伸ばすと、トウドラグの原因になります。

1. ドライバーまたは人差し指で、ガスペダル後方のタブを外します。



2. ガスペダルをトウサイドへとスライドさせ、ブーツソールの長さに合わせます。

ワンポイント:ガスペダルは4段階で調節することができます。

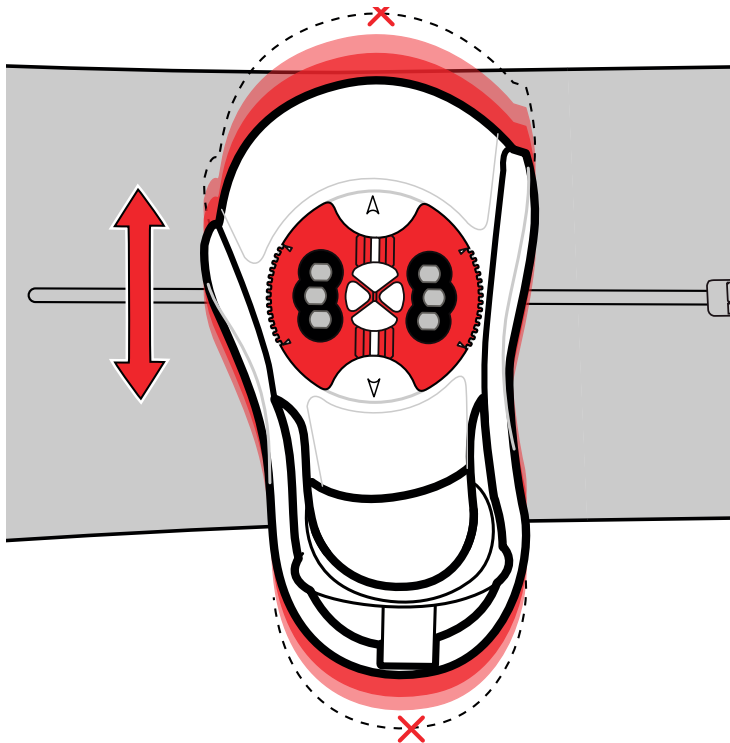


3. ワンポイント:ガスペダルは4段階で調節することができます。ガスペダル後方のタブを再度ベースプレートにはめ込みます。

スタンス調節: ブーツのセンタリング

トウのドラグは最悪です。ヒールのドラグは考えたくもありませんね。

ドラグは雪に引っ掛かるアンカーのようなもので、自然なターンの邪魔をするだけでなく、ハードなクラッシュの原因にもなります。ブーツの位置をトウとヒールのセンターに置くことは、ドラグを防ぐだけでなく、エッジングのパワーを最大限に引き出してくれます。



ヒント:もし、足が小さくてワイドなボードに乗っているのなら、バインディングをトゥエッジ側にズラし、トゥサイドのターンでパワーを発揮できるように調節しましょう。

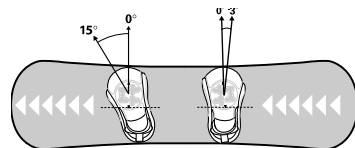
ヒント:もし、足が大きくて細いボードに乗っているのなら、バインディングをヒールエッジ側にズラし、トゥドラグを少なくしましょう。

スタンス調節: スタンスアングル

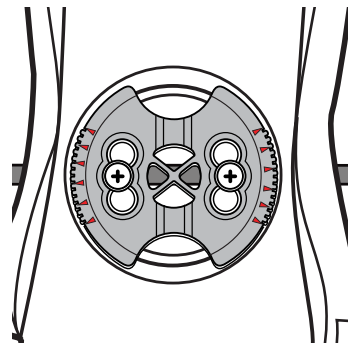
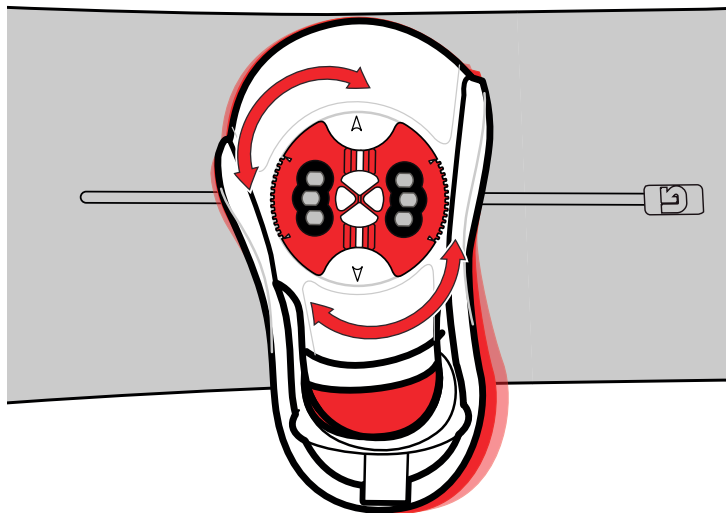
スタンスアングルの好みは、人それぞれです。

快適なスタンスアングルは人それぞれですが、一般的に前足を6°から22°に、後ろ足を-15°から0°に設定する人が多いようです。女性の場合は、お尻の構造上、前足と後ろ足で角度の違いを大きくした方が快適にライディングできます。

納得のいくフィーリングを得られるまで、何度でもスタンスの微調整を繰り返してみましょう。ただし、ライディング前にビスを締めることは忘れないでください。



自分の好みがかきりしていないのであれば、まずは前足15°、後ろ足-3°で始めてみましょう。



1. ステップ1:スタンスアングルを調節する際には、まずバインディングとボードを固定しているビスを緩めましょう。そして、Re:Flex™ディスクを好みのアングルになるよう動かします。EST®バインディングの場合は、スタンスアングルインジケーターを見ながら好みのアングルに調節します。

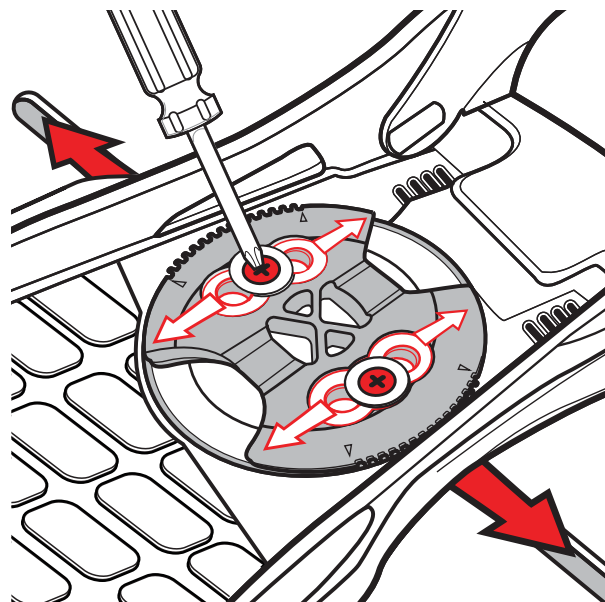
2. ビスを締めたらカーペットの上で実際にストラッピングし、スタンスがしっくりくるか試してみましょう。ただし、勢い余っておはあちゃんのコーヒータブルに当て込んではいけません。

スタンス調節: スタンス幅とセンターリング

全てのBurtonボードには、推奨スタンスが設定されています。

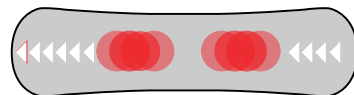
よりグラブをしやすいことや、より安定した着地のため、ワイドなスタンスを好むライダーがいます。一方で、よりパワフルなターンやレスポンスのため、ナローなスタンスを好むライダーもいます。結局のところは、何がより自然なライディングを可能にするかなのですが、Burtonチームの中には、いまだパーフェクトなスタンスを探し続けているライダーもいます。

いろいろなスタンス幅を試してみたいのなら、ビスを緩め、左右のバインディングを約2.5cmずつ狭めたり(ナローなスタンス)、広げたり(ワイドなスタンス)します。ビスを締め直したら、ライディングしてみましょう。



センタースタンスの調節をする際は、ビスを緩め、左右のバインディングを同じだけノーズ、またはテール側に動かします。ビスを締め直したら、ライディングしてみましょう。

センタースタンス(バインディングからノーズとテールへの長さが同じスタンス)は、パークをはじめ、圧雪バーンや硬めのスノーコンディションでのライディングに適しています。セットバックスタンス



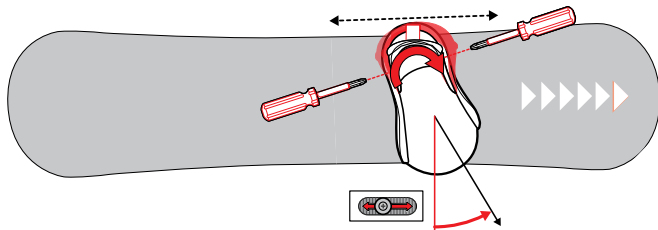
(約2.5cmから5cmテール寄りにズラしたスタンス)はパウダーやバックカントリー、その他フリーライディングに適しています。自然とテールが沈むことで、よりボードに浮力がもたらされるからです。

注意: セットフロントはやめましょう。フェイスプラントの達人になってしまいます。

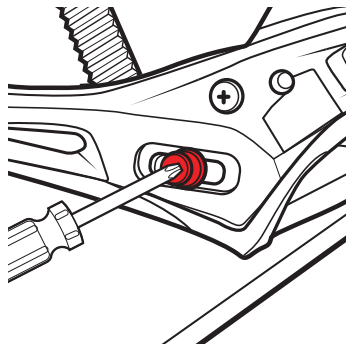
ヒント: 後ろ足が異常に疲れるという人は、後ろのバインディングのみを約2.5cmテール側に下げてください。

ハイバックローテーション

最大限のパワーを得るため、またトリックをやりやすくするためには、ボードのヒールエッジと平行になるようハイバックの位置を調節する必要があります。



1. ハイバックの位置を動かすには、ハイバックとベースプレートをつなぐバインディング両サイドのビスを緩めます。



3. ビスを締め直してライディングしてみましょう。

2. ねじるようにしてハイバックを回し(0°から30°の間で)、ボードのヒールエッジと平行になるようにします。



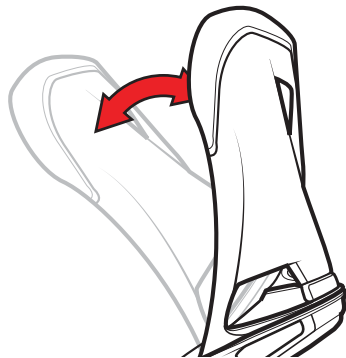
ヒント:さらにハイバックを回すには、スロット内でプラスチックのワッシャーを回転させてください。ステップ1で記載した角度以上の調節ができます。

ヒント:ビスを締め直す際は、ハイバックがヒールカップにしっかりとフィットしているかを確認しましょう。また、フォワードリーンアジャスターがヒールフープに正しくフィットしているかも確認してください(MicroFLAD搭載モデルのみ)。

フォワードリーン

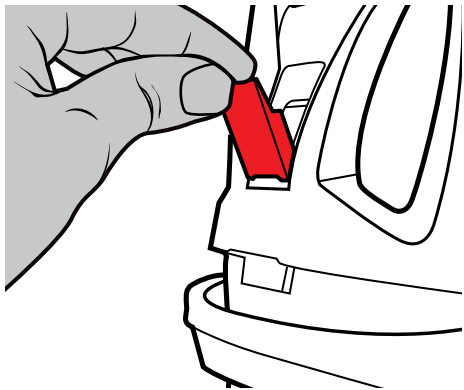
フォワードリーンの角度が大きくなると、さらに素早いターンやクイックなレスポンスが可能になります。

一方で、角度が少ないほど、より自由度が高く、トゥイクしやすいフリースタイルなライディングが可能になります。



MicroFLAD

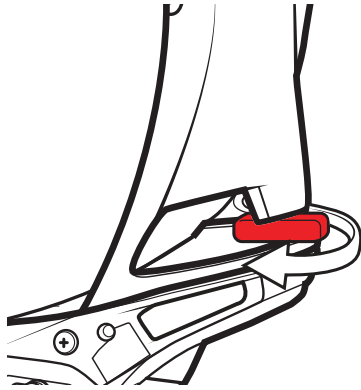
1. フォワードリーンを調節するには、まず、ハイバック後ろにあるフォワードリーンアジャスター (FLAD™) のレバーのロックを解除します
2. 好みのポジションに合うようFLAD™をスライドさせ、レバーをロックします。



ヒント: 正確にフォワードリーンをセットするために、ハイバックの“F”マークを活用しましょう。

DialFLAD

1. フォワードリーンを調節するには、好みのポジションに合うようFLAD™のダイヤルを回します。
2. お好みのポジションが決まったら、ハイバックの表面 (内側と外側) とダイヤルが同一平面になっているかを確認します。

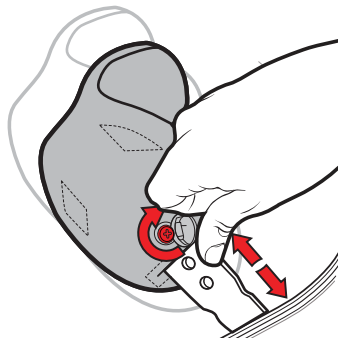


ヒント: 参考用に、FLADのポストにある“F”マークを活用しましょう。

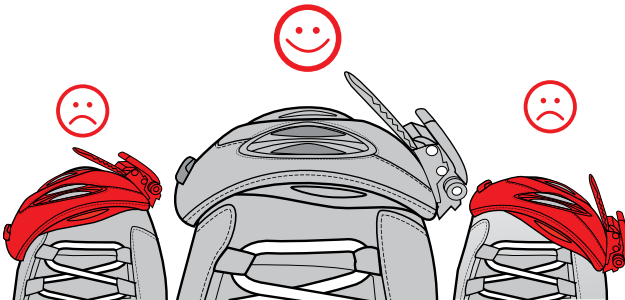
アンクル&トウストラップ調節

ストラップの長さ

1. ストラップの長さを調節するには、まずストラップとスライダをつなぐビスを緩めます。ストラップをスライドさせ、好みの長さに調節します。スライダの穴とインサートの位置が合うようにします。



2. ステップ3:ブーツをバイディングに装着し、長さを確認してからビスを締め直します。アンクルストラップの曲線をブーツの曲線とマッチさせるためには、アンクルストラップがブーツのセンターに位置する必要があります。また、トウストラップの最も厚い部分とブーツのトゥボックスの最も厚い部分がピッタリ合うように、トウストラップもセンターに移動させる必要があります

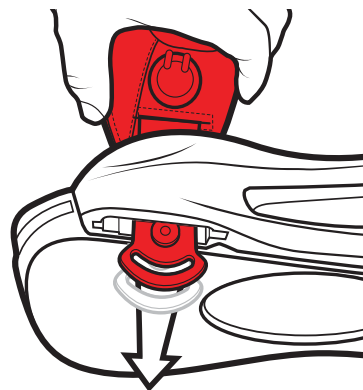
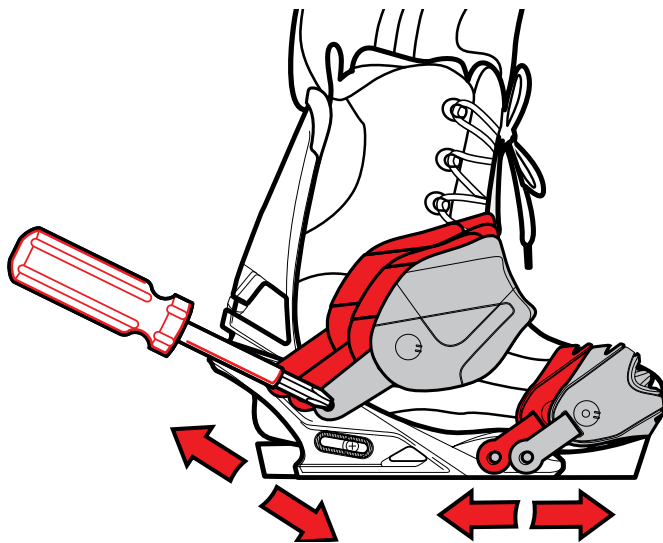


ワンポイント:ストラップは伸びませんが、ブーツは使用を重ねると足に馴染みます。特に新しいギアの場合は、シーズン中でも必要に応じてストラップを調節しましょう。

注意:新しいバイディングを使用するときは、ライディング前に必ずストラップの長さをチェックしましょう。

アンクル&トウストラップ調節

ストラップの高さ



1. ストラップの高さを調節するには、まずストラップとベースプレートをつなぐビスを緩めます。
2. ストラップとビスを取外し、現状より高い位置、もしくは低い位置に再度配置します。

ワンポイント:ベースプレート内側にはナットが埋め込まれています。ストラップの位置を調節する際には、必ず取外してから行ってください。

3. ストラップスライダーとラチェットタンを好みの位置に移動します。まず、ナットをはめ込んでからビスを締めます。ブーツを装着し、問題なくストラッピングできるかの確認も怠らないでください。

高い位置にストラップを合わせることで、サポートとパワーが向上します。一方で、低い位置にストラップを合わせると、柔軟性と動きやすさを手にすることができます。

ワンポイント:ストラップの高さは、ベースプレートの形状やモデルにより調節できる範囲が異なります

Warning



Keep it rad. Look both ways before you cross the street. Bathtubs are slippery. Do not stand on the top step of a ladder. Life has risks—snowboarding is one of them. These are the best bindings in the world, but they are not designed to release. The best protection you have is yourself. Read the instruction manual and learn to ride. Accept the risks you can handle without putting others at risk.

A runaway snowboard is a dangerous thing. When not attached to your feet they can slide away and cause serious injuries. Remember YOU are responsible for preventing your board from hurting others. Make sure your snowboard doesn't fall off a rack or get dropped when you're hiking. In compliance with ISO Code 14573, you are required to use a leash at all times when strapped in. The leash must be attached to the binding by looping it through the notch on the interior side of the front foot baseplate, and securely fastened to your body on the other end. No one gets hurt and we all shred another day!

Avoid compression damage by folding down your high-performance hi-backs before loading/ unloading the chairlift.

Attention / Achtung / リフトに乗る際の注意

⚠ Attention. Sois prudent. Regarde des deux côtés avant de traverser la rue. Une baignoire, c'est glissant. Ne te place pas debout sur la dernière marche d'une échelle. La vie comporte des risques...pratiquer le snowboard en est un. Voici les meilleures fixations au monde. Par contre, ces fixations ne sont conçues pour dégager tes pieds. La meilleure protection que tu peux avoir c'est toi-même. Lis le mode d'emploi...apprends à rider. Assume les risques que tu peux prendre sans mettre les autres en danger.

Un snowboard qui s'échappe sans contrôle sur les pistes peut être très dangereux. Lorsque le snowboard n'est pas attaché à tes pieds, il peut glisser et provoquer des blessures graves. Souviens-toi que c'est TA responsabilité d'empêcher que ton snowboard ne blesse quelqu'un. Assure-toi que ta planche ne tombe pas d'un support ou ne chute pas lors d'une ascension. En conformité avec le Code ISO 14573, tu dois utiliser une courroie de sécurité en permanence lorsque tu as ton snowboard aux pieds. Cette courroie doit être attachée en permanence à la fixation à l'aide d'une boucle autour du cran situé du côté interne de la base du pied avant. La courroie doit être accrochée solidement à une partie de ton corps lorsque tu utilises ton snowboard. Personne ne sera blessé et on peut rider une journée de plus!

Évite les dommages de compression en pliant toi-même le hi-back de fixation avant de prendre le télésiège.

⚠ Achtung! Vor dem Überqueren der Strasse immer in beide Richtungen schauen. Die Badewanne ist rutschig. Nicht auf die oberste Stufe der Leiter stellen. Das Leben birgt Risiken in sich und Snowboarden ist eins davon. Dies sind die besten Bindungen der Welt, aber sie sind nicht dazu gemacht, um sich selbstständig zu öffnen. Der beste Schutz ist man selbst. Die Gebrauchsanleitung muss unbedingt gelesen werden. Das Snowboarden muss gelernt werden. Nur solche Risiken dürfen akzeptiert werden, denen man gewachsen ist und die andere nicht in Gefahr bringen.

Ein den Hang hinunter rasendes Snowboard ist eine gefährliche Angelegenheit. Wenn das Snowboard nicht an den Füßen befestigt ist, kann es wegrutschen und ernsthafte Verletzungen verursachen. DU allein bist dafür verantwortlich, dass dein Board niemanden verletzt. Es muss immer sicher gestellt werden, dass das Board nicht vom Dachträger fliegt oder beim Transport herunterfällt. ISO Code 14573 schreibt bindend vor, dass immer ein Sicherungsband („Leash“) verwendet werden muss, wenn die Bindung angeschmalt ist. Die Leash wird an der Bindung angebracht, indem sie durch die Nute an der Innenseite der Grundplatte des vorderen Fusses gezogen und mit dem anderen Ende sicher am Körper befestigt wird. Keiner wird verletzt und alle können weiter snowboarden.

Durch Druck verursachte Schäden können durch das Herunterklappen der Highbacks vor dem Ein- und Ausladen des Snowboards vermieden werden.

⚠ 道を渡る時には左右をしっかりと確認しよう。お風呂場は滑りやすい。ハシゴのてっぺんに立つのは危ない。生活の中には危険がイッパイ・・・スノーボーディングもその1つです。これは世界最高のバインディングですが、リリリース（開放）するようにはデザインされていません。最高のプロテクションはあなた自身です。インストラクションマニュアル（取扱説明書）をきちんと読んで、他の人々を傷つけることなく、自分のリスクは自分自身で負いましょう。

警告:足から外れ、斜面を流れていくボードは凶器です。ボードを足につなげておかないと、時として大きな事故を引き起こす可能性があります。スノーボーダーには、自分のボードで誰かにケガを負わせないようにする責任があるということを忘れて下さい。ハイク中に背負ったボードがバックバックから落ちたり、脇に抱えたボードを手から落としたりしないようにしましょう。ISO Code 14573に従い、ボードを装着している時は常にリリースコードを緩めなければなりません。リリースは、バインディング前足ベースプレートの内側にループして通し、反対側を自分の体にしっかりと固定します。誰もケガをすることなく一日を終えて、また次の日も皆でライディングを楽しみましょう。

リフトを使用する際には、ハイパフォーマンス・ハイバックを前に倒し、リフトとの接触によるハイバックへのダメージを防ぎましょう。

B BURTON.COM

FOLLOW OUR LINE



facebook.com/burtonsnowboards
twitter.com/burtonsnowboard
youtube.com/burtonsnowboards
instagram.com/burtonsnowboard

W48 WARRANTY

USA 800-881-3138 / EU 00800-287-866-13

JPN +81(3) 5738-2555 / AU +61 (2) 99359000

burton.com/warranty